

# 南会津 のうりんニュース



ふくしまから はじめよう。

「食」と「ふるさと」新生運動

## 第199号（令和2年3月）

今号の写真：第48回只見ふるさとの雪まつりの大雪像

### 《 目 次 》

#### ● トピックス

- ・ 南会津町中荒井集落が3冠達成！
- ・ 南会津樹木育苗センターが竣工しました
- ・ ふくしま満天堂グランプリ2019  
～ 準グランプリとデザイン賞を受賞 ～
- ・ 只見町梁取地区のほ場整備に向けた動き
- ・ 林業普及指導員活動発表会で最優秀賞を受賞
- ・ 農業関係研修会開催
- ・ 林業労働安全衛生講習会を開催

#### ● 農林事務所からのお知らせ

- ・ 農家民宿を始めてみませんか！
- ・ みんなで山火事予防
- ・ 山菜の出荷・販売についての注意とお願い

令和2年3月25日発行 福島県南会津農林事務所

## トピックス

### 南会津町中荒井集落が3冠達成！



鳥獣対策優良活動表彰



豊かなむらづくり顕彰事業



多面的機能支払交付金優良活動表

南会津町中荒井集落は、地域の活性化や鳥獣被害対策に集落ぐるみで取り組み、その活動が認められ、以下の3つの事業で表彰を受けました。

#### ①令和元年度鳥獣対策優良活動表彰

鳥獣被害防止に取り組み、農林水産業の被害の軽減等により地域へ貢献した個人及び団体が表彰されます。「中荒井集落」は被害防止部門で全国1位の農林水産大臣賞を受賞しました。

#### ②令和元年度豊かなむらづくり顕彰事業

魅力ある地域づくりや農業生産活動に功績のあった団体を讃える事業です。「中荒井区」が福島県知事賞・福島民友新聞社社長賞を受賞し、令和2年度の全国表彰に福島県代表として推薦されました。

#### ③平成31年度福島県多面的機能支払交付金優良活動表彰

交付金を活用して、農業用施設の維持管理や農村環境の保全活動等の優良な取組を行った団体が表彰されます。「なかあらい大地を育む会活動組織※」が最優秀賞（福島県知事賞）を受賞しました。

※ 中荒井集落で集落環境の維持・管理を行う組織

#### ○中荒井集落の取組

中荒井集落では、集落の問題を見える化して、目標を示した「なかあらい元気づくり計画」を平成25年に策定し、集落全体でのむらづくりを推進しました。

荒廃農地や河川の環境整備、鳥獣被害対策、里山林整備、地区の景観形成等を住民全員で役割

分担して行い、農地の再生、鳥獣による農業被害の低下、水生生物の生息環境改善などの成果がありました。また、地域の伝統行事や文化祭等の催しを多数開催し、世代間交流を促進しています。さらに障がい者が農業に関わる農福連携にも取り組んでいます。

中荒井集落は町や県の事業を有効に活用しているほか、NPO法人や大学など多くの機関と連携を図ることでむらづくりを進めています。中荒井集落のさらなる活性化のために当事務所も支援を続けてまいります。

(農業振興普及部・農村整備部)

### 南会津樹木育苗センターが竣工しました

住友林業株式会社が南会津町で建設を進めていた「南会津樹木育苗センター」が完成し、1月24日（金）に竣工式が行われました。この施設は、令和元年度の林業・木材産業成長産業化促進対策交付金事業を活用して整備され、2棟の育苗・作業棟（1,584㎡）と屋外養生スペース（1,188㎡）を擁しており、カラマツのコンテナ苗を年間30万本生産する計画です。

播種→発芽→育苗→出荷までを一貫して行う施設で、人工光による発芽や自走式灌水装置など最新のシステムが導入されています。また、施設内の各所にはカメラ等が設置され、温度、湿度、日射量、土壌水分などを自動計測してスマートフォンにデータや画像が送信されるなど、労働負担が軽減されています。暖房等の熱源には、木質チップボイラーを導入し、森林資源を有効活用することで環境対策にも配慮しています。

コンテナ苗は裸苗に比べ、通常の植栽時期（春や秋）以外でも、高い活着率が見込まれるため、今後、事務所としても伐採と造林の一貫作業により育林コストの削減につながるよう、コンテナ苗の普及に努めてまいります。

(森林林業部)



カラマツのコンテナ苗（育苗状況）

### ふくしま満天堂グランプリ2019 ～ 準グランプリとデザイン賞を受賞 ～



商品のPRに訪れた下郷町星町長（左）

福島県では、県内の6次化商品を育て上げるブランド「ふくしま満天堂」を平成29年度から展開しています。毎年、首都圏のバイヤーなどの専門家の厳しい目で審査をし、優れた新商品の表彰を行っておりますが、1月20日（月）、今年度応募のあった県内約190商品の頂点を決める最終審査が福島市において行われました。南会津からは3商品が満天堂プレミアム（TOP10）に入選。グランプリこそ逃したものの、準グランプリ及びデザイン賞を受賞し、南会津の商品開発が認められる結果となりました。

翌21日には当事務所において、下郷町星町長による準グランプリ受賞商品「エゴマごぼう（ピリ辛漬）」の振る舞いがありました。「そのまま食べてもおいしいが、野菜炒めに利用してもよい」と食べ方も伝授いただきました。

受賞作品は道の駅などで販売しています。お見かけの際はぜひ、「おいしいふくしま」を味わっていただけますようお願いいたします！

< 準グランプリ受賞商品 >

- ・エゴマごぼう（ピリ辛漬）（株）香精：下郷町
- ・奥会津蕎麦200g（株）奈良屋：南会津町、デザイン賞同時受賞（企画部）



エゴマごぼう (株香精)



奥会津蕎麦 (株奈良屋)

## 只見町梁取地区のほ場整備に向けた動き

只見町梁取地区では、将来的なほ場整備の実施に向けて、地域内での話し合いはもちろん、多くの研修を積極的に行っています。

12月3日(火)、茨城県つくば市にある国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構にて、取水源となる揚水ポンプの管理を、パソコンやタブレット等により遠隔制御が可能となるシステムや、各田の水位等を自動で調整し水管理を行うことができる水管理制御システム等を見学しました。

12月24日(火)には、既にパイプラインを活用している磐里地区(猪苗代町)及び大和田地区(会津若松市)にて研修を行いました。磐里地区においては、利用している農業者に、パイプラインのメリットや導入した場合の維持管理等の説明をしていただきました。

今後も令和4年度のほ場整備着工に向けて、引き続き、地域内での話し合いや研修を通して、将来の営農について考えていきます。

(農村整備部)



水田水管理制御システム見学 (茨城県つくば市)

## 林業普及指導員活動発表会で最優秀賞を受賞

1月27日(月)に福島県林業研究センターにおいて「林業普及指導員活動発表会」が開催され、当事務所を代表して活動事例を発表した山口公康技師が「最優秀賞」を受賞しました。

この発表会は、県内各指導区代表の林業普及

指導員が、森林整備の推進に向けた活動などの取組事例を発表することで、日ごろの仕事を県民の皆様にご紹介するとともに職員相互の技術・知識の研鑽等を目的として毎年開催されているものです。

山口技師は「南会津地方における里山林整備の推進について」と題して発表し、当地区における農作物等への鳥獣被害の実態を踏まえ、地区住民や農業担当者らと連携しながら、里山林整備事業(福島県森林環境税事業)を活用した緩衝帯整備の普及に努め、その取組成果が評価されました。

なおこの発表は、今年、秋田県で開催される「林業普及指導員東北・北海道ブロックシンポジウム」の県代表として推薦されました。

今後も様々な地域課題に取り組んでまいりますので、皆様の御協力をお願いします。

(森林林業部)



最優秀賞受賞の様子 (左が山口技師)

## 農業関係研修会開催

農林事務所では、農業を志す方や農業者のスキルアップのため様々な研修会を開催しています。

### ① 未来の農業者に向けた研修

#### ○第2回フレッシュ農業講座

12月18日(水)、県立田島高校普通科環境科学コース1年生の生徒11名を対象に、南会津町で今年度新規就農された大竹良真氏を講師に招き、「農業とはどのような職業か」「なぜ農業を職業に選んだか」といった内容についてお話しいただきました。自身の経験等も交えて分かりやすくお話しいただき、生徒達は生き生きとした表情で聴講していました。



フレッシュ農業講座

### ○新規就農者等冬期研修会

就農したばかりの方や就農を希望される方を対象に、12月19日（木）から令和2年2月5日（水）にかけて計5回の研修会を開催し、簿記や税務申告のほか土づくりや農薬の使用方法、農業機械の使い方など、農業経営に関する幅広い内容について知識を深めていただきました。質疑も毎回活発に行われ、就農に向けた強い意欲が感じられました。



新規就農者等冬期研修会

## ② 農業者に向けた研修

### ○農業経営発展に向けた研修会

12月11日（水）に、労働力確保や作業の効率化について地域の農業者が学ぶことを目的として「農業経営発展に向けた研修会」を開催しました。

研修会では、経営面積が日本最大級の「株式会社西部開発農産（岩手県北上市）」の照井勝也社長より、農地の集約や、人材確保・

育成の手法を、また南会津町で障がい者の就労支援を行う「NPO法人あたご」馬場康德氏より、GAP（農業生産工程管理）を活用した農福連携の取組みについて御講演をいただきました。農業振興普及部からは、管内の水田に設置した自動水門の実証結果を紹介しました。

研修会には農業法人や大規模経営体、町、JAの担当者など約50名が出席し、南会津管内で共通する課題をどのように解決していくか、考えていただく機会となりました。



農業経営発展に向けた研修会

### ○南郷トマト講座

南郷トマトの産地発展のため、栽培技術や経営能力の向上、安全安心な生産の普及定着を図ることを目的として、3回にわたって南郷トマト講座を開催しました。

12月23日（月）の第1回、令和2年1月29日（水）の第2回では、今年度の実績と次年度対策やマルハナバチの飼育方法、鳥獣害対策、JGAP認証取得に向けたリスク評価会などを実施しました。



南郷トマト講座

農家民宿を始めてみませんか！

東日本大震災を契機に大幅に落ち込んだ本県の教育旅行者数は、平成30年度には約52万人となり、震災前の73%まで回復しています。

中でも南会津地方は、関係機関が一体となって、首都圏や近県などの学校や旅行会社に対し、農家民泊プランや助成体系をPRした結果、震災前を上回る年間約10万4千人（H30年度。震災前比128%）が訪れており、県内の教育旅行をけん引する地域となっています。

当地方は、以前から農家民泊をベースとした受入体制を整備してきましたが、受入農家の高齢化が進んでおり、都市との更なる交流促進や農業所得の向上に向け、新たに農家民宿に取り組みたい農家さんを、関係機関が連携して開設を支援しています。

農家民宿を開業するには、旅館業法に基づく保健所の営業許可が必要となります。農家民宿は簡易宿所営業という営業区分となりますが、旅館やホテル営業と異なり、施設基準の一部に緩和措置があります。これは、都市と農山村の交流を促進する観点から、農家民宿を開設しやすくしているのです。

生徒さんの受入の仕方、食事、農作業体験のコツなどの“おもてなし”については、学校との受入調整を担っている南会津農村生活体験推進協議会が、研修会などでサポートをしていますので御安心ください。

開設に興味のある農家さんは、農林事務所企画部または各町村観光主務課までお問い合わせください。農家民宿は、受入人数も3～4人と小規模、孫たちを迎える感覚で受入ができます。元気な子どもたちとの交流に農家民宿を始めてみませんか！

（企画部）



みんなで楽しく農作業に挑戦

2月26日（水）の第3回では、「夏秋トマト栽培マニュアル」の著者である産地育成会代表後藤敏美氏を講師に、「気象変動に対応したトマト栽培」と題した講演を行いました。当日は生産者51名の出席があり、トマトの生理障害の原因と対策、ゴーストスポット対策等を学び、今一度基本に立ち返って栽培を見直すよい機会となりました。

この講座が、次年度以降のステップアップの一助となり、目標の販売額10億円達成につながることを期待します。

（農業振興普及部）

林業労働安全衛生講習会を開催

全国における林業死傷者数は減少傾向にあるものの、死亡者数は毎年40名前後で推移しており依然高い水準となっています。また、今年度は南会津管内の林業労働災害は増加している状況にあります。そのため、林業労働災害の発生状況や伐木等作業における労働安全衛生規則等の省令について認識し労働災害の未然防止を図るために、2月17日（月）に南会津町役場において林業労働安全衛生講習会を開催しました。当日は、林業事業体や町村担当者など40名が参加しました。

会津労働基準監督署地方産業安全専門官の千葉光平氏、林材業労災防止協会福島県支部事務局長の斎藤潤一氏を講師に招き、「伐木等作業に係る労働安全衛生規則の一部改正について」や「伐採作業における心構え・安全対策について」の講演をいただきました。

改めて労働安全を遵守し、労働災害「0」に向けて日々の業務内容の見直しをお願いします。

（森林林業部）



講習会の様子



台湾の高級中学校と受入農家の対面式

## みんなで山火事予防



南会津郡内をパレードし、山火事予防を呼びかけています

春は空気が乾燥し、風の強い日が多いため、山火事が発生しやすくなります。そこで、4月1日から5月31日までを南会津地区春の山火事予防運動強化月間としています。

全国の山火事発生要因で最も多いのは「たき火」、次いで「火入れ」となっていることから、県民の皆様が火の取扱いに注意をしていただければ、多くの山火事を防ぐことができます。

今年は暖冬で積雪が少ないため、山火事が発生しやすい状況が例年より早く、また、長く続くと考えられますので、山火事防止に向けて、より一層の注意が必要です。

南会津の豊かな山の緑を守るため、山火事ゼロを目指し、火を取り扱う際には次の点に注意しましょう。

- ① たき火の後始末を徹底する。
- ② 煙草の投げ捨てをしない。
- ③ 強風及び乾燥時の火気使用は避ける。
- ④ 火入れの際は予め町村に届出を行い、火の始末を完全にする。（森林林業部）

## 山菜の出荷・販売についての注意とお願い

- 山菜の発生するシーズンとなりました。
- 南会津地域では下郷町・只見町・南会津町のコシアブラについて出荷制限が続いています。また、その他の地域においても、摂取制限及び出荷制限となっている市町村があります。出荷制限指示が出されている市町村産の山菜は、出荷販売及び宿泊施設等での提供をしないようお願いいたします。
- 出荷制限のない市町村で採取された山菜についても、今シーズンのモニタリング検査で安全が確認されてから出荷販売及び宿泊施設での提供を行うよう、ご協力をお願いします。
- 検査結果はホームページ「福島県農林水産物・加工食品モニタリング情報」 (<https://www.new-fukushima.jp/>)にて公表されますのでご確認ください。
- 例年、山菜と有毒植物の間違いによる食中毒が発生しておりますので、注意いただきますようお願いいたします。（森林林業部）



春の訪れを告げるふきのとう

## お問い合わせはこちら

福島県南会津農林事務所 企画部 地域農林企画課

〒967-0004 福島県南会津郡南会津町田島字根小屋甲4277-1

ホームページ <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36250a>

電話 0241-62-5252 FAX 0241-62-5256



みなさんのご意見・ご感想をお寄せください。